関大

関西大学校友会
吹田市山手町3丁目3番35号
発行人　神屋敷民蔵
電話大阪(388)1121代表
振替口座大阪55594番

校友会 清新の執行部

目立つ新人の登場

副会長に植垣、坂本、村上氏

校友会役員の任期満了に伴いさきに新代議員を選任した校友会では一月二十四日の臨時代議員会を開き、正副議長、会長を選考したのであるが、このたび常議員、監事も新しく顔ぶれが決まり、約半数の新人をもって構成された第一回の常議員会で副会長に植垣幸雄(新)坂本龍夫(再)村上精三(新)の三氏が、また顧問と参与の委嘱では十四名中新たに参与として大島武夫、田中藤作、羽賀一郎、前川信之助の四氏が委嘱され、五部長も新任二名となり、それぞれ清新の人事をもって向う三カ年間、十五万校友の負託に応える校友会運営がスタートすることになった。

植垣　幸雄氏

坂本　龍夫氏

村上　精三氏

各界各層から人材

次期執行部の常議員と監事の選出は、臨時代議員会で十七名の選考委員会(羽賀一郎委員長)に一任となり、委員会では二月二日以来前後全体委員会三回、小委員会五回におよぶ慎重な審議を重ね、二月二十三日付で樫本会長に候補者の答申を行った。

ついで会長から同日付で常議員(50名)監事(3名)に対し委嘱状を同封し、第一回常議員会の通知状を郵送した。

このたびの選考の概要は、「校友会運営の重大な使命に鑑み、選考には広い視野に立って刷新をはかり、各界各層から清新にして活動的な執行部を選出する」ことを基本とし、常議員の選考では、新代議員を母体に第一次対象に前期常議員長ら旧役職者五十七名をおき、任期三カ年間における出席状況に限らず、あらゆる角度から詳細な資料をもとに検討され、再任二十六名を選びついで第二次対象の新人では、四十六名に及ぶ推薦リストから厳選し二十四名の新人を選出し、その結果、約半数に近い改選率となった。

選考に当たっては卒業期別、学校別が勘案されているほか、所属別、職業分野別についても構成上バランスを保って、各界各層から人材が選出されている。構成配分で主なものを見ると、卒業期別では①大正・昭和1期(大正～昭九)六名、②昭和2期(昭一〇～一九)一五名、③昭和3期(二〇～二九)一七名、④昭和4期(三〇以降)一二名の配分で、特に昭和3期で候補者が集中し、四名の新人枠に対し十四名の推薦候補があるといった選考事情であった。

また学校別では最終学歴単位で旧制学部一三名、大学院四名、新制1部一一名、新制2部一〇名、専門部1部四名、専門部2部八名となり、中間課程では短大、関甲二商の校友も含まれ、いわゆる付属学校をも網羅されている。

一方、監事の選考では、性質上ことに職業分野を勘案し、かつ一名は留任を原則とした結果、会計人員一名、法曹界一名、その他一名となっている。

新執行部を選出した第1回常議員会

大島　武夫氏

田中　藤作氏

羽賀　一郎氏

前川信之助氏

新たに参与は14名

大島氏ら四名

新メンバーによる第一回常議員会は、三月三日夕刻から大阪証券会館に樫本会長、織田、篠原代議員会正副議長をはじめ四十五名が出席して開かれた。

樫本会長から「業務遂行の機関としての校友会で最も責任の重い機関である常議員会は、校友会目的達成の上に密接不可分の関係にある。執行部の一員として難局に直面した任期三カ年を一段の協力を要もって運営願いたい」と協力を要請した。

続いて常議員・監事の選考経過について羽賀一郎委員長から報告のあと新役員を紹介し、議案の審議に入った。

第一議案副会長選出の件は、会長を含めた七名の選考委員により候補者を選ぶことになり、大森俊次、倉谷精一、田村篠夫、畑下辰典、東浦栄二、吉木由雄の各氏と会長をもって選考会議が持たれ、慎重審議の結果、植垣幸雄(新、前監事)、坂本龍夫(再、前副会長)、村上精三(新、前参与)の各氏を推薦する旨会長から発表され、満場一致承認した。引続いて当日出席の植垣、坂本両氏から新任挨拶があった。

第二議案顧問参与委嘱の件は、大月伸、岡野衛士、明石三郎(役職による)の三氏を顧問に、参与には前期の阿部甚吉、寒川喜一、菊久池博、西村治三郎、松村睦鴻、三島律夫、矢野文雄、安富敬作、山崎敬義、吉田鹿之助の十氏を再嘱するほか、新たに大島武夫(前議員)、羽賀一郎(元監事)、前川信之助(前副会長)の四氏をそれぞれ委嘱することに決定した。

第三議案常議員五部分属の件は、会長のもとで分属し、後日結果を通知し正副部長を互選する部会を開くことを申し合わせた。

議案終了後、副会長転出による常議員補選につき二氏の繰上げを承認した。

正副会長による分属会議は三月五日開かれ再任、新旧のバランスを配慮した五部の構成を決め即日分属結果に基く部会通知を発送。

三月十一日の初部会では各部の正副部長の互選がなされた。

その結果、部長に田村総務(再)畑下事業(再)、大森広報(新)金本総織(新)、荒井財務(再)となり、副部長では総務が千厳(再)和田(新)、事業が倉谷(新)富田(新)、広報が有福(新)東浦(再)、組織が北野(再)寺西(新)、財務が山田(新)山本(再)と再任四名、新任六名と副部長に新人の登場が目立っている。

ついで予算編成会議の日程を決め、予算代議員会での新年度予算承認を得るまでの予算暫定措置を承認した。

なお五部分属による副会長の担当は、総務担当を植垣副会長、事業、広報担当を坂本副会長、組織財務担当を村上副会長にそれぞれ決定した。

坂本龍夫(昭14専一商)税理士
村上精三(昭5専経)㈱アーバンシステム研究所取締役

監事
高橋　孟(昭5大法)司法書士
棚野誠幸(昭16大法)弁護士
森田　森(昭15大法)公認会計士

代議員会
議長　竹田侃代治(大14大法)丹波開発㈱常務取締役
副議長　篠原昭三(昭29院修法)大阪府総務部管財課長

(常議員氏名は2面に)

新役員の顔ぶれ

森田　森氏

棚野　誠幸氏

高橋　孟氏

顧問
大月　伸(大6専法)弁護士
岡野衛士(大11専法)KK大阪証券会館社長
明石三郎(昭16東北帝大)関西大学学長

参与
阿部甚吉(昭7専法)弁護士
大島武夫(昭8大法)弁理士
寒川喜一(昭8専一法)寒川労働コンサルタント事務所長
菊久池博(昭8専二法)KK近畿相互銀行社長
田中藤作(大10専法)弁護士
西村治三郎(大14専商)神戸トヨペット㈱社長
羽賀一郎(昭2専商)税理士
前川信之助(大14専法)ナショナル通信機器㈱社長
松村睦鴻(大15大法)㈱ウエシマボトラーズ会長
三島律夫(大11専商)関大二高名誉校長
矢野文雄(昭9大法)ヤノシゲ㈱社長
安富敬作(昭7大政)弁護士
山崎敬義(大14大法)弁護士
吉田鹿之助(大13専法)㈱東洋現像所監査役

会長
樫本信雄(昭3大法)弁護士

副会長
植垣幸雄(昭1専二法)弁護士

卒業生諸君に贈る

学長　明石三郎

卒業生諸君おめでとう。創立九十年の記念すべき年に当たり、既に十四万余名を数える校友の中へ今春もまた五千余名の新進気鋭の校友が加わることとなった。故岩崎学長はかって「数は力なり」といって、わが関西大学のマスプロ教育を讃美されたことがあった。私はこれに全幅の賛意を表するわけにはいかないが、人類の将来における文化と福祉を被うべき有為の諸君を、多数世に送ることができるのは大学にとっても、また社会にとっても非常な喜びである。

諸君はこれからの日本を背負い、全世界を背負って立ち、世界人類の平和と幸福のために、それぞれの職業を通じ、その能力に応じて貢献されることを期待されているのである。あるいはこれを重荷に感ずる諸君がいられるかもしれない。しかし、最高の教育を受けた若い諸君に期待せずして、何人に期待できるであろうか。また期待を寄せられる諸君はそれを光栄に思うべきであろう。

諸君は大学という最高学府にまで学び、この長い学園生活の中で、それぞれにものの考え方や、人間としての生き方について、何らかの指針となるものを得たはずである。この人生の三分の一以上の長い学園生活は、いささか無駄な道草のようではあるが、その多感にして受容力の強い若い時期に、読書や研究を通じて自ら体得した人生観や世界観は、今後のさらに長い社会生活をする上に頗る有益であるに違いない。

これから諸君が就く職場では、必ずしも学校で学んだ専門の学問が直接に生かせるとはかぎらず、むしろそれとは縁遠い場合が多いであろう。しかし専門の勉学を通じておのずから体得した、真理を愛し、論理的にものを考える知性は、やがてその職場を通じて立派に発揮されることを信ずる。従って諸君自身も、一方では謙虚であるとともに、他方ではインテリゲンチャとして、社会の中堅となるべき自覚と誇りを忘れないでほしい。

とも角もこれからの長い人生の間には、いろいろのことが起きるであろう。楽しいこともあるであろうし、時には堪えがたい苦難に会うこともあるであろう。楽しいことも、苦難の荒海とみえる世相の中にも、忍耐強く努力している間には、いつしか浅瀬にたどりついている場合が多いのである。

「窮すれば通ずる」という言葉は、私共の人生経験の中でも実感をもつのであるが、それは忍耐強く健闘した後の体験である。人生を安易に考えてはならないであろうが、また余り悲観に考えすぎてもいけないし、その必要もないと考える。人に一歩をゆずる心のゆとりと、生かされて生きるとの謙虚さを持っておれば、却て力強く生きられるのではないであろうか。

先般石油ショックのあおりを食って紙不足が叫ばれたとき、買溜めに走ったのは戦後に成長した若者だったようにも聞いている。我々戦時中の物不足を経験している者は、少々の不足には驚かない。最近の高度経済成長は物質文明を覚えすぎる結果となっている。やゆすれば人間の魂が忘れられがちのように思う。時には裸に帰って裸で生きる心の工夫も必要ではないかと考える。最近は仕事の上のノイローゼで自殺するものが増えている。これにはいろいろの原因が重なって起こるものであろうから、一概に論断はできないであろうが、裸で生まれたものが裸で生きる気持になれば、ある程度救われるのではないかと考えている。

これから輝かしい未来へ向って旅立とうとする諸君への門出の祝いの言葉としては、いささか不景気な言い方になった。諸君には、少しオーバーな表現かもしれないが、無限の可能性を秘めているのである。諸君の中から釈迦やキリスト、あるいは碩学、宰相が出ないとは言い切れないのである。どうか自重自愛の上、ご健闘を祈ること切なるものがある。

「忍」の一字を肝に

校友会長　樫本信雄

新卒業生諸君、卒業おめでとう。

四年前、入学試験の難関を突破して憧れの関西大学に入学し、ここに学成りなつかしい校門を後に、実社会に一歩を印されようとする諸君の、感懐は如何ですか。

我々多数の校友も、年代こそ異なれ諸君と同じ感激を味わったものです。大学はもち論、学問の研究教育の場であるが、同時に人間形成の場でもあります。諸君は、関西大学の建学の精神に基く、伝統と学風を十分に体得されたでしょうか、あるいは青春に悔なき学生生活を送られたであろうか、それは諸君自らのみが知るところのものです。

これまでの諸君は、夢多くまた、一般的批判者であったが、これからは批判される立場に置かれるばかりでなく、憧れと現実の相異が、如何に厳しいものであるかを、好むと好まざるとにかかわらず、生涯を通じて味わはなければならないでしょう。

現在世界的不況に基因する我が国の経済情勢は、就職難時代を余儀なくされています。高度成長を謳歌していた数年前は、就職先より好みが出来たのですが、現在は最も望み得ぬものです。しかし、かかる時代にこそ、質実剛健を旨とする関大マンとしての力量を、大いに発揮すべきときです。「たたけよ然らば開かれん」の精神が肝要と言えましょう。

十数万の先輩校友は、全国至るところで、またあらゆる職域で活躍しています。諸君は卒業と同時に、新しい校友として我々の仲間入りをするわけですが、諸君の先輩は、温かい手をさしのべて諸君を歓迎するでしょう。

関西大学という母校を共にする心の絆は、我々の生涯を通じて断ち切ることの出来ないものです。

私は、人生の新しいスタートに立たれる諸君の、今後の活躍を期待し、その成功を心から祈念する次第である。

新校友を迎えて

森田　森氏

大阪の桜島で下宿して千里山に通いはじめたんですが、本当のところ、特別勉強が好きなほうでもなく(笑い)、その頃流行していたビリヤードのほうが性に合ってねえ(笑い)、玉突きだけは友人に負けなかったけど、まあ平凡な予科生だったんです。

ところが、予科の二年に進学して間もなく、親父が事業に失敗して、「これ以上学費が送れない」と言ってきたんです。ショックだったねえ。ほんとに大きなショックだった。「こりゃアイカン。なんとか自分でやらんとダメだ」と思って、予科を中退して、専門部に移ったんです。専門部だったら、昼は働いて、夜は学校へ行けるからねえ。

吉田　なるほど。それから?

志村　専門部に入学して仕事を探していると、大阪市役所の水道局の雇員という仕事が見つかった。「これで大丈夫だ」と、最初のうちは、水道局へも学校へも真面目に通っていたんだが、少しするうちに、芝居の好きな友人が出来て、「おい、大学で演劇研究会をつくろうと思うんだ。お前も一緒にやらんか」と誘われた。これが、わたしの運命を変えてしまったんですよ。

吉田　運命の神様ですな。(笑い)

志村　わたしも、芝居はキライじゃなかった。(笑い)ちょうどその頃、早稲田の出身で、宝塚国民座の演出家だった豊岡佐一郎先生が、専門部文科の講師をしていられて、先生が劇研の面倒を見てやろうということでねえ。

吉田　その豊岡佐一郎先生が、わたしの出た市岡中学の先輩で、志村さんのあと、わたしもいま東宝映画の社長をしている田中友幸君たちと劇研をつくりました。

志村　覚えてる、覚えてる。あんたは途中でケツをわって新聞記者になった。(笑い)その豊岡先生の指導で、みんなで金を集めて「七月座」というアマチュア劇団を結成した。「七月座」というのは、当時フランス革命が青年達の間で熱っぽく語られ、その革命が七月だったから、演劇の革命だというわけでこんな名前をつけたんです。名前といえば、わたしの芸名「志村喬」もその頃につけたもので、公演のプログラムを印刷屋に回わすギリギリになって、どんな芸名をつけよう?と、仲間でいろいろ考えたすえ、「志村」が呼びやすくていいじゃないか、ということになり、下の名前は、喬木(きょうぼく)の喬一字で、「たかし」と呼んでもらおうと、なんとなく決めてしまったんです。それからずーっと、この名前で通しているわけです。

劇団の仕事がだんだん面白くなり、熱が入ってくると、水道局のほうは欠勤、遅刻、早退の連続で、とうとうクビになりました。その当時で四十何円かの給料をもらっていたのに、クビになると学校はおろか、食ってゆけなくなる。そこで、専門部も中退して、それからは生きるための苦労が始まりました。それを見て、豊岡先生と、これも宝塚国民座で演出を担当していた森田信義さんが、なんとかしてやろうということで、大阪千日前の楽天地を根城にした五月信子さんの「近代座」へ声をかけて下さったのが、プロ入りの第一歩になったわけです。昭和五年、二十五歳の時でした。

そののち、ラジオの放送劇に出たり、辻野良一さんや三好英子さんらのいる「新撰座」に移ったりして、昭和九年に新興キネマに入り、伊丹万作監督の「忠治売出す」で、映画俳優として初めて役らしい役をもらったんですが、これが縁となって、伊丹さんが片岡千恵蔵プロダクションで撮られた「赤西蛎太」にも声がかかり、この作品で、映画というものは、なんと面白く、奥の深いものかということが分りました。だから、この「赤西蛎太」が、わたしにとっては映画開眼の作品、ということになるわけです。

吉田　やっぱり、新聞ではこの辺までで、あとは単行本にでもせんことには到底……。(笑い)そこで、芸能界を志す人はあとを絶ちませんが、それについて最後にひとことお願いします。

志村　なにも芸能界に限らず、プロの水は決して甘くない、ということです。どんな職業でも、努力、また努力あるのみです。それ以外に成功するスベはありません。

吉田　おいそがしい最中、ほんとに有難うございました。どうかいつまでもお元気で、日本の、いや世界の芸能界のために活躍下さい、祈っています。

志村喬(しむら・たかし)
映画俳優。本名・島崎捷爾(しまざき・しょうじ)　近代座、新声劇、新撰座を経て新興キネマに入り、マキノ・トーキーから日活に移り、「海を渡る祭礼」で準主役。昭和十八年黒沢　明監督が第一作「姿三四郎」を撮るときに請われて出演、これが縁で東宝入りして"黒沢一家"の人となる。

「羅生門」「酔いどれ天使」「野良犬」「生きる」「七人の侍」「蜘蛛巣城」は世界的代表作。

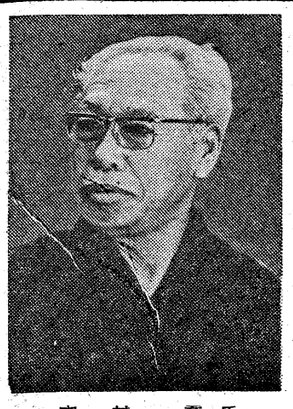
数々の賞を受け、日本映画界に数少ない性格俳優として高い評価を受けている。

関大予科、専門部中退。推薦校友。

お時間拝借

校友あれこれ対談

映画俳優　志村喬氏
聞き手　吉田三七雄


志村　喬氏

吉田　相変らずお元気ですねえ。お顔の色もツヤツヤして…。

志村　いや、どうも。しかしネ、この三月十二日で"一"ですよ。もうあきませんなア。

吉田　"一"とは、まさか満七十一歳ということじゃないんでしょ? 六十一歳ではないし……。

志村　おだてちゃいかんねえ。(笑い)明治三十八年三月十二日生まれだから、正真正銘の満七十一歳だよ。知ってるクセに。(笑い)

吉田　相変らず、お元気ですねえ。なんだか最初から、身に危険を感じてたんだが…。(笑い)関大へ入る前の話になるんだが、わたしは兵庫県朝来郡生野町の生まれで、生野の小学校から、兄に続いて神戸一中へ入学したんです。その頃、生野からは何年に一人の割合いでしか神戸一中へは合格しなかったのに、三つ違いの兄に続いて入学したので、生野の町では随分話題になり、教育パパだった親父が、えらく喜んで祝ってくれたもんです。

その親父が転勤で宮崎県に移ることになったので、わたしも県立延岡中学に転校して、四年修了で、関大の予科に入学したんです。

大阪の桜島で下宿して千里山に通いはじめたんですが、本当のところ、特別勉強が好きなほうでもなく(笑い)、その頃流行していたビリヤードのほうが性に合ってねえ(笑い)、玉突きだけは友人に負けなかったけど、まあ平凡な予科生だったんです。

ところが、予科の二年に進学して間もなく、親父が事業に失敗して、「これ以上学費が送れない」

吉田　ところで、きょうは校友会新聞であなたと対談ということになったんですが、なにしろ志村さんは、それこそ演劇、映画、テレビの"生きている五十年史"みたいな方だから、それをすーっと聞いて書くと、何百回かの"つづきもの"になってしまう。だから、えらい勝手な注文ですが、志村さんと関大の関係について位いのところを、チョッピリお聞かせいただこうと思いまして……。

志村　ほんとに勝手な注文やねい)

プロの水は甘くない

努力以外成功のスベなし

志村　わたしは兵庫県朝来郡生野町の生まれで、生野の小学校から、兄に続いて神戸一中へ入学したんです。その頃、生野からは何年に一人の割合いでしか神戸一中へは合格しなかったのに、三つ違いの兄に続いて入学したので、生野の町では随分話題になり、教育パパだった親父が、えらく喜んで祝ってくれたもんです。

その親父が転勤で宮崎県に移ることになったので、わたしも県立延岡中学に転校して、四年修了で、関大の予科に入学したんです。

大阪の桜島で下宿して千里山に通いはじめたんですが、本当のところ、特別勉強が好きなほうでもなく(笑い)、その頃流行していたビリヤードのほうが性に合ってねえ(笑い)、玉突きだけは友人に負けなかったけど、まあ平凡な予科生だったんです。

ところが、予科の二年に進学して間もなく、親父が事業に失敗して、「これ以上学費が送れない」

吉田　相変らずお元気ですねえ。お顔の色もツヤツヤして…。

志村　いや、どうも。しかしネ、この三月十二日で"一"ですよ。もうあきませんなア。

吉田　"一"とは、まさか満七十一歳ということじゃないんでしょ? 六十一歳ではないし……。

志村　おだてちゃいかんねえ。(笑い)明治三十八年三月十二日生まれだから、正真正銘の満七十一歳だよ。知ってるクセに。(笑い)

吉田　ところで、きょうは校友会新聞であなたと対談ということになったんですが、なにしろ志村さんは、それこそ演劇、映画、テレビの"生きている五十年史"みたいな方だから、それをすーっと聞いて書くと、何百回かの"つづきもの"になってしまう。だから、えらい勝手な注文ですが、志村さんと関大の関係について位いのところを、チョッピリお聞かせいただこうと思いまして……。

志村　ほんとに勝手な注文やねい)

プレゼントのお考えはきまりましたか
サイフ・ハンドバッグ・カバン専門卸
GIFT 贈答好適
ビジネスバッグ・旅行カバン
ご一報者にカタログ急送
K.K廣島屋本店
取締役社長　蔵田廣造
(昭和25年　経済学部卒)
〒541　大阪市東区博労町1－26
TEL 06－261－2431

運転免許は校友がお世話する
"大阪鶴見の"
公安委員会指定
都島自動車教習所
大阪市鶴見区緑3丁目2－13
〒538　TEL(06)912－7171
担当　太田清太郎(昭29.学2法)
優待関大証
校友、在学生、又は校友紹介の方は左の優待証を切り取り持参下さい。授業料割引きの特典あり。

大きくすこやかに育て!
祝って上げよう端午の節句
●人形店の名門
勝村
勝村人形株式会社
本店●771－2531
大阪市天王寺区上本町8－53
(上六交差点より南へ300m)
■勝村グループ
平野店/709-0671
千里中央店/831-2565
八尾店/763-0671
奈良榛原店/(07458)2-0035
八尾北店/763-0388

National
ベルやブザーの配線を利用できる
2線式
ホーム用インターホンと言えばこれ!
当社自信の推奨機
屋外に「ドアホン子機」ナショナル独自の「リードスイッチ」を採用。
室内に「親機」子機からの呼出しに受話機をとるだけで通話のできる「同時通話式」
VL-165　¥16,900
(電灯線式親機1台、子機1台)
VL-166　¥15,600
(乾電池式親機1台、子機1台)
❶信頼性　特にドアホン子機は、ナショナル独自の「リードスイッチ」を採用。雨やホコリ、サビに強く長持ちします。
❷取付け簡単　既設のベル・ブザーの配線の利用もできる「2線式」です。
ナショナル玄関電話
((電子チャイミー)) 2線式
松下通信
●お問い合わせは…ナショナル通信機器(株)
本社　大阪市都島区中野町3-8-14 〒534 電話(06)352-2171
神戸営業所　神戸市葺合区御幸通2-6 〒651 電話(078)231-6141

●サラリーマンの財産づくりに—
ダイワ財形信託
●天引きで貯めやすい
●高利回りの信託
●積立金は1,000円から
●優とは別枠で 500万まで無税の特典
長い人生——頼りがい
ある銀行を持つべし。
大和銀行

カタノヨイ　カタノコラヌ　カタノクズレヌ　カタノ洋服店
最高のおくりもの
カタノ紳士服
片野洋服店
大阪市東区北浜三丁目北浜通
電話大阪(231)〇五六五～七
大阪駅前店　第一生命ビル　専門大店
電話　大阪(341)〇七九二
上六近鉄百貨店紳士服サロン　テーラーカタノ

葦の雫

桜の蕾がふくらむころ、人々は春の陽気を胸の奥深くまで吸い込んで、大きな伸びをしたくなる。

ましてこの春、千里山の学窓を巣立って、実社会への第一歩を踏み出そうとする皆さん"新学士"の胸は、デッカイ希望と、天も衝く意気で充ちあふれているに違いない。皆さんを、新会員として迎える校友会にとっても、喜びは大きく、新しい会員の皆さんにかける期待もまた大きい▼いま関西大学の卒業生は十五万名にのぼるが、その三分の二ほどが昭和二十五年以降の新制大学卒業生で占められている。今年も、五千数百名が卒業して校友となるが、この数が、旧制大学だった大正十四年から昭和二十六年までの卒業生総数(五千九百九十九人)にほぼ同じであることからみても、この間の母校の隆盛発展ぶりがよくわかる。これは、とりもなおさず校友会の発展にも結びつくことで、喜ばしいことである▼さらに欲をいえば、卒業生の全員が、校友会活動により一層積極的であればーと思うことである。現在生存校友で、校友会事務局のアンケートに返事を寄せ、住所もわかっている人は約十万名、そのうち校友会費を収めている者は半分弱、というのが実情だからである。折角、校友相互のコミュニケーションのために毎月一回発行されているこの機関紙も、会費を収めていない校友の手許には届けられない。かような"断絶"が生じないようにするためにも、特に新卒業者の皆さんには、全員会費を納入していおいていただきたい▼同期会、職域会など、もっとも身近かな同窓生の組織は三以上にのぼっているほか、居住地での地域支部も国内各地に百四が組織されている。海外でも、活発な韓国支部のほか、いま在学中のベトナム(十名)、マレーシア、ホンコンなどの留学生たちによって必ずや将来はアジア各地にも支部の結成が期待でき、国際的な校友交流はさらに拡大されるだろう▼いまや多数を占める若い校友諸氏には、それだけにより積極的な校友会活動への参加と活躍が期待されるわけである。

北から・南から　各地支部だより

新会長に野村梧良氏
東大阪市役所千陵会 総会

東大阪市役所千陵会の昭和五十年度総会は、去る二月二十八日土曜日の午後、ミナミ「コニュー大阪広鳳」に百名を越える会員が集まり、相互の親睦をはかり意義深いものがあった。

昭和四十二年二月一日、新生東大阪市が誕生したのに伴い、旧布施、枚岡、河内の各市が統合、関大校友も「東大阪市役所千陵会」として翌四十三年四月発足。以来毎年二回欠かさず総会を開き、内容的にも市役職の五六％を校友で占めるとも言われ、現在二一〇名に及ぶ在職校友を擁し、その活動ぶりは他の模範とされている。

当日は校友会本部から樫本校友会長、地元唯一の市議澤住光二校友の両氏から、伝統に輝やく千陵会の発展に対し祝辞を呈し、また藤本事務局次長も出席された。

続き主要議事である役員の改選に関しては竹田達郎会長の勇退に伴い、後任に野村梧良氏（昭31学一経、東大阪市長公室長）の会長選任を満場一致承認した。

ことに竹田氏は初代池内幾久氏の後を受け昭和四十五年来会長として会の運営に尽力され、このたびの退任は惜しまれ、今後相談役として後進の指導に当たられることになった。当日選任された千陵会新役員はつぎのとおりである。

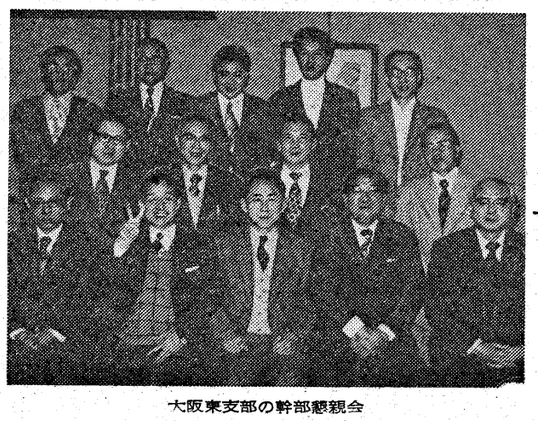
【会長】野村梧良（市長公室）【副会長】篠原昭寛（下水道管理部）鳴崎清治（企画部）橋本徳重（市民部）【幹事長】佐伯文也（福祉部）【副幹事長】東野時男（市民部）松岡正孝（選挙管理委員会）【会計】門野功（保健衛生部）【会計監査】石橋正次（社会部）田口友一（福祉部）【相談役】竹田達郎（公平委員会）

新役員を選出した東大阪市役所千陵会の総会

大阪東支部 幹部懇親会

大阪東支部（家満春・武彦支部長）では幹部懇親会を、二月十四日午後六時から、島町「大乃家」に歴代支部長のうち、森田・片野・薩摩氏ら先輩をはじめ、幹部役員が顔をそろえ、若手を中心にうまく結束し和やかに旧交を温めた。

もともと大阪生まれの大阪育ち最近のドーナツ化現象にも動じることなく、生粋の〝船場っ子〟として誇り高き面々の揃いとあってお互いの融和は抜群、こうして年一回の総会にかぎらず、懇親会をも回を重ね交歓を深めている。


大阪東支部の幹部懇親会

樫本会長、久井理事長ら迎え
尼崎支部の総会

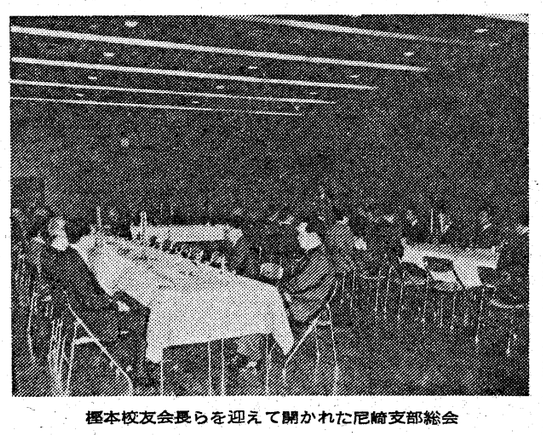
五十年度尼崎支部総会は二月二十六日、尼崎市立労働福祉会館中ホールにおいて、五十名が参加して盛大に開かれた。定刻の五時三十分には早やばやと樫本校友会長、神屋敷局長がおみえになり、つづいて急用をお繰りあわせされた久井理事長と神戸関大クラブの山崎理事長（参与）がお出になるなど、来賓各位のご精励ぶりに役員一同感激しながら、しばらく別室でお休みをいただいている間に校友は続々とつめかけ、正六時に中村市議の司会、貴村幹事長の開会のことばで総会は開かれた。

母校九十周年の行事に伴う募金運動を中心に、年間の支部活動について川井支部長より報告があって一同これを承認。つづいて樫本会長より、会長四遷にあたっての抱負と決意の表明を中心に、また久井理事長よりは、大学財政の危機的現状と本学の使命と展望などそれぞれ有意義なご祝辞があり、さらに山崎参与ならびに神屋敷局長より真情あふるるご挨拶をいただいたあと協議に移った。

協議の中心は、支部運営の改善問題であったが、基本方針の策定を幹事会に一任することで協議事項を終了して懇親会となった。

因にこの日は、尼崎市出身の元学長森川先生のご命日にあたり、特に神屋敷局長より「森川太郎先生の憶い出」の出版についてご披露があったこともあって、参会者一同は森川先生をはじめ物故された諸先生に敬虔な黙祷を捧げた。

ついで植村尼崎市助役の音頭で開宴となったが、ビールと酒のビンがテーブルを埋める頃には、続々かくし芸がでるなど、盛会を極めたが、最後に万歳にこだまする学歌の斉唱と嵐のことき万歳の中で九時に総会はめでたく終了した。


樫本校友会長らを迎えて開かれた尼崎支部総会

大島武夫氏の叙勲を祝う
関大剣友会

関大剣友会は、剣道部員らを交え、三月三日午後六時、大阪上六の「なにわ会館」で、大島武夫会長の叙勲祝賀会を開催した。あい集う剣友八十名ちかく、その中には本年八十二歳を迎えられた富田倫夫先輩、広島から駆けつけた坂口昇先輩のお顔も見られ、文字どおり剣の猛者ばかりで、なかなかの盛会であった。

定刻過ぎ、先ず名剣要一副会長が「剣友会にとって最初の叙勲であり、大変喜ばしいことです」と開会の挨拶を兼ね祝辞。ついで、来住哲一剣道部長の穏和で人間性あふれた祝辞、続いて大野幸雄剣道部師範より記念品の贈呈。そのあと大島会長が「今後も母校並びに剣友会、剣道部の発展と充実に尽力したい」と謝辞を述べられた。

安田経彦先輩の音頭で乾杯し、懇親会となった。久し振りに合流した剣友は意気投合し、現役時代の想い出、現在の仕事のこと、剣道部の近況等、それぞれの話題に花を咲かせ、飲むほどに、酔うほどに先輩、後輩のへだたりもなく打ち溶け、さらに剣道部員らの隠し芸も続出し和気あいあいのムードであった。

宴会は午後九時まで続き、大島会長を中心に学歌、道遥歌、剣道部歌を力強く斉唱し、母校、剣友会、剣道部の発展隆盛を願い万歳を三唱し、賑やかなうちに散会した。

なお、関大剣友会々員は約三百五十名で、近畿地区在住者は二百名あり、多方面で活躍し一大勢力となっている。

再発足した卓球OB会の総会

スキー講習会で親睦
八尾支部の行事

八尾支部（水野富蔵支部長）では、一月一日から六日まで正月の休暇を利用して、妙高高原を代表するゲレンデの赤倉温泉スキー場でスキー講習会を行った。

初心者、中級者、上級者とわかれて練習し腕を磨くことができた。夜は、温泉につかり扇の疲れをとって雑談にふけるのもまた楽しかった。

八尾支部では、この一年間に「八尾支部長杯ゴルフコンペ」（名阪チサンカントリークラブ）「秋の文学散歩（希留の里と大和の神）」「沖縄観光と海洋博見学」と趣味を一つにする校友が集う行事を行い、このスキー講習会も含めて支部友の親睦に役立ち実りあるものがあった。今年の五月には「八尾支部長杯ゴルフコンペ」を開催しますので、ご参加希望の方は支部長（〇七二九―二二―〇八六四）までお電話下さい。詳細をお知らせします。

会長に山本弥一郎氏
卓球OB会が再足総会

久しく途絶えていた卓球部OB会総会は、昨年秋の叙勲で卓球界で最高の勲四等瑞宝章を受章された山本弥一郎氏（大11専商）の祝賀を兼ねて、二月七日午後七時より、ホテルニュー大阪広鳳にて、母校より卓球部長の佐藤博経済学部教授を迎え、現役四名とOBには一〇〇名連絡し古くは浅野（時）（昭9大経）塚本、田村（昭13大法）谷口（昭14大経）喜多村（昭14大哲）小川（憲）（昭15大商）三品（昭17大法）等の諸氏と計六〇名の多数が参加し、OB会の再発足を機に盛大に開かれた。

中田氏（昭27学一経）が司会となって議事が進められ、年一回一月に総会を開催、会費は年額五、〇〇〇円に決定し、役員（任期二年）は左記の通り選任された。

（幹事若干名は卒業年度を勘案して追って選任の予定）
会長　山本弥一郎氏（六11専商）
副会長谷口義正氏（昭14大経）
〃　三品　薫氏（昭17大法）
〃　福井　清氏（昭28学一経）
山本弥一郎氏には最長老格の浅野（時）氏より今回の叙勲の祝辞と記念品が贈呈せられた。

なお山本弥一郎氏は過去に世界卓球選手権、アジア、中共等の日本選手団団長、現在は日本卓球協会副会長、大阪卓球協会会長、関西学生卓球連盟名誉顧問等の要職にあり、多年にわたり卓球界に貢献せられた功績は高く評価せられ、つとに知名度は広く内外に知られ、母校にとってはこの上もない名誉なことであり誇りとするところであります。

宴は酣となり、引続き自己紹介に入り遠く岡山より駆せ参じた星野氏（昭25大経）や卒業以来はじめて会ったOB連もおり、先輩、後輩の知何をとはず歓談尽きるところ知らず、記念撮影のあと学歌を斉唱。最後に母校ならびに卓球部の一層の飛躍的発展とOB相互間の親睦、結束の強化、現役、OB各位の健康を祝福し万才三唱して午後九時すぎ閉会した。

【小川（憲）記】

人それぞれ

神戸弁護士会長に選ばれた 奥村 孝氏

◇…身長一八〇、体重九四㌔の堂々たる体躯に似合わず、眼鏡の奥には柔和な目がのぞいている。少しばかり甘い声で、大きな体をゆさぶりながら、在学当時の思い出を語った。

「昭和二十四年に専門部二部の自治会の委員長をやっていた頃、授業料値上げ問題からんで、二部学生のための育英制度を設けたことが一番の思い出です。当時の二部学生は、いわゆる苦学生が多く、授業料が払えないために学校をやめて行き、勉強をあきらめなければならない学生が出てきて、これはいかん、何とかしていくとめなければと思って、困っている学生に金を借してくれと、当時の岩崎学長に直談判をして、育英資金を設立させました。もちろん、困窮学生を救う意味ですから成績に関係はありません。それと、教育後援会費の免除ね、これなど畑下君（現関大理事畑下辰典氏）と一緒にやりましたよ」

◇…この奥村孝さんの正義感とでも言うか、義侠心は、弁護士になってからはますますその真価を発揮した。同氏の著作「信号は青だった」は、交通事故と違反の裁判記録であるが、どんな小さな事件にでも、全力で体当たりし、無罪をかちとった青年弁護士の情熱が脈うっている。運転手の弁護のために自動車が分からなければ駄目だと、自動車教習所に通って運転免許をとり、自らの体で事件を確めた。また副会長の頃には、無法曹地帯といわれる兵庫県の過疎地帯に、無料法律相談の車を走らせ、困っている人たちの手助けをした。

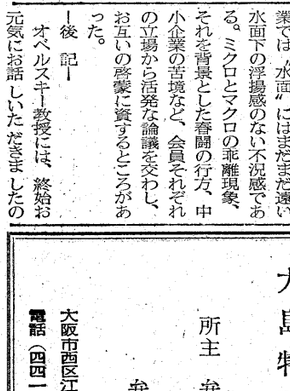
◇…大正十五年神戸生まれ、神戸二中（現兵庫高校）から陸軍経理学校へ、終戦で復員し昭和二十二年関西大学専門部二部法科に入学、二十五年三月卒業。身内に四人もの弁護士がいる関係で弁護士を志望。昭和二十六年司法試験合格、三十年に二十九歳で弁護士を開業。以来二十一年間、生まれ故郷の神戸市で弁護士生活を送った純粋の神戸子子である。その間家庭裁判所の調停委員を十五年。昭和四十年には神戸弁護士会副会長に、そしてこのたび会長に選ばれた。

「弁護士は敷居が高いといわれている。弁護士に相談したいが、いくらとられるのかわからん、どうも近よりがたいという世間の批判があり、敬遠されがちですが、これからは市民と肌をふれ合い、親しめる弁護士会にしたいと思っています。それにはどしどし広報活動もやって行かねばと考えています」と抱負を語った。

◇…仲良しのキタタローに呼ばれて、ラジオの法律相談を気軽に引受けたり、新聞社やテレビ局にも積極的に働きかけて、精力的に動き回っている。まことに気さくな会長さんである。ご家族は夫人と、大学生の息子、娘さんの四人家族。

オベルスキー博士急逝
本学講師・ミシガン大教授

母校の経済学部および大学院で講師として後期授業を担当中のミシガン大学教授アルバン・J・オベルスキー博士には、去る二月十九日宝塚の寄寓先で、心臓発作のため急逝された。博士は昨秋来学以来、本学二部ならびに経済人クラブで講演をされたり、学生の相談にも気やすく、親切に応じられるなど授業以外の面での貢献も多大であった。前記寄寓先で行われた葬儀には本学の経済同学部教職員のほか、明石学長、東井経済学部長ならびに高本大学院経済学研究科長も特に参列され、異国の地で亡くなられた博士の冥福を祈られた。享年五十歳。


関大経済人クラブでの講演が最後となったオベルスキー博士

『低経済成長の結末』
関大経済人クで最後の講演

関西大学経済人クラブ第五十二回例会は、二月十日午後五時三〇分より新阪急ホテルにおいて開催された。

わが国の経済は石油ショック後高度経済成長の夢が破れ、二年続きのマイナス経済成長の暗い不況下に低迷している。しかも世界経済同時化の不況であり、インフレと不況が併存のスタグフレーションの様相を現わしている。この低経済成長にはいくつかの問題を投げているので、現在、母校経済学部で講義を担当されているミシガン大学教授アルバン・J・オベルスキー博士を招いて〝低経済成長の結末〟をテーマとした講演を聞いた。

低経済成長論は、環境汚染の急増、資源の枯渇などを根拠としているが、経済成長を抑制した場合には、増加しない所得の分配をめぐって各種グループ対立の激化、深刻な業問題が生じ、社会緊張不安の高まりなど考慮すべき問題が潜んでいる。そこで適正な高度成長維持はこれらの問題を防ぎ、その下でのみ可能な大規模な研究投資による公害防除技術、新しいエネルギー源の開発が促され、高度成長がもたらす弊害の多くは解決されるのではないか……経済成長なくして福祉の高揚がないことを銘記しなければならない……という冒頭の見解を日本語で話された。

同教授は、経済政策、国際経済学者としてアメリカ学界で著名であるが、日本経済発展に関する論文で博士号を取得された日本経済通で、また夫人が地裁判事であった日本女性であるという。日本に深い理解と親しみを持っておられる。

講演後はオベルスキー教授を主賓とし、今回の催しをあっ旋された母校経済学部上田昭三教授も加わり、和やかに夕食を共にしつつ、戸根泰雄氏が司会し、現在の経済問題につき自由な討論をたたかわした。

先ず会員の平岩武郎氏（平岩投資研究会常任理事）ならびに黒田一男氏（日本興産社長）から、外人の対日投資、アメリカ株式市場の活況、株価の先見性からとらえた世界経済の動向につき見解を述べられた。

政府、日銀などのマクロの経済指標は上向いているのに、個別企業では〝水面〟にはまだまだ遠い水面下の浮揚感のない不況感である。ミクロとマクロの乖離現象、それを背景とした春闘の行方、中小企業の苦境など、会員それぞれの立場から活発な論議を交わし、お互いの啓蒙に資するところがあった。

―後　記―

オベルスキー教授には、終始お元気にお話しいただきましたのに、二月十九日夕宝塚のご自宅で心不全のため忽然として亡くなられました。

あまりの意外なことに驚いております。

日米学界にとり大きな損失であります。

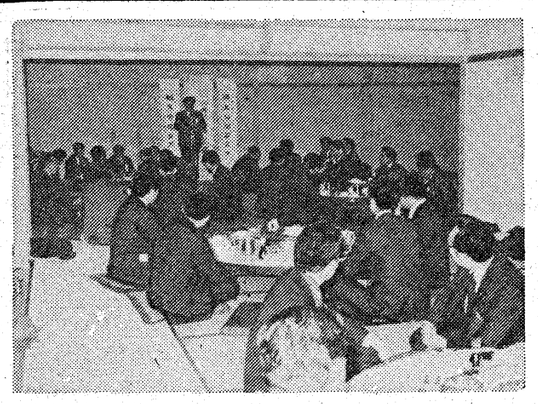
先生にとり最後の講演となりました。

謹んで哀悼と心からのご冥福をお祈り申上げます。

大阪府議関大会と秀麗会有志
合流して懇親会

大阪府の議員関大会と府庁秀麗会の有志による懇親会は、二月十二日午後六時から、天満橋大阪キャッスルホテル錦城閣に樫本校友会長を迎えて和やかに開催した。

校友会での職域会として、かつ大阪府に在職する校友の団体としてともに縁故の深い府議関大会（寺西武、三谷久男両世話人、校友府議十六名）と府庁秀麗会有志（中塚良夫代表、主に本庁課長級以上三十七名）との合流懇親会は昨春の地方選挙に続く府庁の異例の繁忙続きで実現できなかった一年越しの集りであるため、出席者も予想を越え五十余名に達した。さすが広い会場もテーブルで埋まり、中国料理を囲んでお互いに大阪府政自治の担い手として府政を語り、一層の伸展に努めることを約し午後九時すぎ散会した。


府議関大会と大阪府庁秀麗会有志の懇親会

五七会第二回総会

校友会五七会（昭二五専二経、二七年学二経卒同期生）第二回総会は、去る二月二十七日午後六時から都島区の大阪市桜宮職員会館で、樫本校友会長、恩師鋳方、高木両先生のご出席をえて、出席者二十七名で盛会裡に開催された。

総会は渡辺会計幹事の司会で進められ、畑下会長のあいさつ、樫本校友会長、来賓の先生のごあいさつを頂き、引き続き母校創立九十周年協賛校友募金結果について報告、乾杯のあと懇親会にはいった。

懇親会では、各々自己紹介し懐しい過ぎし日の思い出に花が咲き、近況報告では勤務先のPRも兼ね問題生の活躍範囲が以外に大きいのに驚かされた。

ユーモアに富んだ鋳方先生、いつまでもファイトマンの高木先生を囲んで和気あいあいの裡に校歌斉唱、記念写真をとって楽しく幕を閉じた。

なお、出席校友の氏名は次のとおり

（アイウエオ順）
赤井喜代蔵、石田光男、井上和彦、宇野貞二郎、大野徹二、大石　進、大久保　満、金谷　晋、佐藤修吾、谷村一男、畑下辰典、福田公夫、堀　政男、堀内史郎、松原春夫、真壁剛一郎、本岡滋弥、山口博史、安田敏穂、湯浅清美、渡辺　実、渡辺彦四郎

恩師を迎えて五七会の第2回総会

関大剣六会 新発足総会
会長に村田治氏

関大専門部在学中に銃剣道部に在籍した校友によって新発足した関大剣六会（銃剣道部と天六学舎の略）の第一回総会は、一月二十四日午後八時から、ミナミ「来山閣」に十二名が集まり和やかに発足を祝した。

第一回総会に当たる当日は、先ず名称・会則・役員構成、事務局の設置を協議し会長に村田治（昭19専一商　信貴・酒事㈱専務取締役）を、副会長に小泉博之（昭20専一営　暁食品㈱社長）をそれぞれ選出し、また事務局は西宮市上鳴尾町一五―二四、浮田嘉彦宅に置くことに決った。

終了後、戦時体制下の在学時代苦しかった練習、勤労動員兵役などなつかしく楽しい一夜を過し九時すぎ、次期総会を楽しみに散会した。

なお未だ部員で消息不明者が多数にあり、会員ができるだけその調整に当たることを申し合わせた。

常議員
1面から つづく

◎印―部長　○印―副部長

△総務部△
◎田村徳夫（昭18大法）弁護士
○千葉弓郎（昭26学二経）KKイワオ社長
○和田栄皇（昭28学二法）弁護士
石原久弘（昭25学二法）大阪府総務部職員長
岩佐清三郎（昭7大法）㈱与太呂社長
岸田　勲（昭27学一経）大阪府企画部同和対策室室長
中西兵一（昭7専商）（社）日本不動産鑑定協会近畿支部長
永見英次（昭29学二法）豊中市役所企画部長
春間秀泉（昭9大法）妙見宗管長
橋本栄次（昭30学一商）㈱はしもと取締役社長

△組織部△
◎金本朝一（昭25学二国）大阪体育大学講師
○北野繁太郎（昭16専一法）阪大北逓信病院電務長
○寺西　武（昭24大法）大阪府議会議員
宇津呂章雄（昭30学一法）弁護士
小崎健新（昭33院修法）小崎土地興業㈱社長
岡部俊吾（昭6大法）岡部鬱油㈲代表取締役
神戸善弘（昭33学二経）永和商事㈱専務取締役
阪本隆夫（昭18専二法）吹田市議会議員
原田忠義（昭40学一新）原田セメント化工㈱専務取締役
福永利一（昭28学一経）福永商工㈱取締役社長

△財務部△
◎荒井　広（臨16専二法）大阪国税局徴収部長
○山田栄一（昭25大経）公認会計士
○山本守昭（昭28学二商）税理士
足立芳邦（昭17専二商）大阪市経理局長
石田　弘（昭32学二法）大阪市西成区役所総務課長
片野総一郎（昭24専一経）㈱片野洋服店社長
川井幸太郎（昭11専二法）兵庫県選挙管理委員
鷲田　武（昭17大経）㈱ツルヤ商店社長
宮内敏光（昭40学一商）㈲宮内善
進堂副社長
森　直治（昭14大法）呉羽製鋼㈱社長

△事業部△
◎畑下辰典（昭27学二経）公認会計士
○倉谷精一（昭19専一商）大阪タイハツ販売㈱取締役営業部長
○富田淑郎（臨16専二商）京都観光物産㈱専務取締役
石坂倭子子（昭30学二文）西宮市立甲東小学校教諭
植田喜一（昭29学二経）司法書士
糠谷武夫（昭9専二法）内海電機通信工業所相談役
川崎久雄（昭29学一商）日本パン粉㈱社長
小林正立（昭14大法）岡山建設㈱監査役
澤　勲（昭42院博士）大阪経済法科大学理事
吉末由雄（昭7大法）弁理士
今市郵便局長
○有福健（昭28院修法）関西大学法学部事務長
○吉浦栄一（昭26学一商）東浦自工㈱社長
菅田定男（昭18大政）毎日新聞大阪社会事業団常務理事
一軸浩幸（昭33学一法）弁護士
岩城富子（昭28学二文）大阪市立歌島中学校教諭
上野勝也（昭22大法）サンケイ新聞総務局付
津川正幸（昭28院修経）関西大学経済学部教授
伴義孝（昭38学一商）関西大学文学部助教授
植田秀男（昭19大法）大阪市立三陵中学校長

△広報部△
◎大森俊次（昭30学二法）大阪旭

内外国特許・商標・出願全般
鈴木国際特許事務所
所長・弁理士　鈴木武夫
大阪市西区西長堀南通二丁目九番地　藤村ビル二階
電話　大阪（四ツ橋交差点南50m東側　地下鉄四ツ橋駅中央出入口隣）〇六（五三二）七四三一～七四三四　七四三五（所長室）

大阪市西区江戸堀北通二丁目二十五番地（とみたビル）
電話（四四）二一〇〇・一三九四（四四三）六一五〇
大島特許事務所
所主　弁理士　大島武夫
弁理士　大島泰甫

各種鋳鋼品
橋梁高架用沓並に伸縮継手
日本鋳鋼会々員　日本海事協会認定工場
ノルウェー船級協会認定工場　ビューローベリタス船級協会認定工場
米国船級協会認定工場　ロイド船級認定工場
KSK 吳羽製鋼株式会社
代表取締役　森　正治
大阪市西淀川区竹島町五丁目一番地
電話　大阪（471）四三三一～四番

強靱鋳鉄　特殊鋳鉄
社団法人 日本強靱鋳鉄協会会員
今福鋳造鉄工株式会社
取締役社長　松井　兼松
専務取締役　松井　正一（昭30商卒）
松井　秀夫（昭40工卒）
大阪市城東区今福淵2丁目6―28
TEL 06（939）2621（代）

自然と何かを始めよう。
世界の街を、大自然の中を、快適ライフの輪をひろげながら走りつづけるツバメ自転車。今話題のアルミ製テニスラケットなど、日本ではじめてリムを開発した信頼あるアラヤの技術が、いま自然と健康を愛する多くの人たちに親しまれています。
ツバメ自転車
アラヤ メタルラケット
新家工業株式会社
大阪市西淀川区竹島1―1
TEL 06-474-1313（代表）

ダイヤモンドホーローバス製造元
各種大型プレス・製缶事業
赤井物産株式会社
高級染料及び中間物製造販売元
神戸化学工業株式会社
大阪興業株式会社
新東生コンクリート工業株式会社
取締役社長　赤井常隆
本社　550大阪市西区北堀江上通一丁目十番地　電話大阪（五三八）代表三六二一～六番
支店営業所　東京・名古屋・福岡
工場　静岡・川西・神戸

51年度 体育会各部の展望

戦力、徐々に向上
期待される新人の入部

八十有余年の歴史と伝統に培われた我が体育会もここ数年来、部員不足・有望選手の欠如、そして現代学生気質からの精神的厳しさの欠如といった諸現象によって低迷を続けています。

「十年一昔」という言葉がありますが、現在に至る十年間は体育会を善きにつけ悪しきにつけ変革させ、その結果、改善を余儀なくさせられています。

およそ十年前の体育会各部の隆盛と、体育会々員個々の部活動に対する積極的な参加熱等を先輩の方々から拝聴するにつけ、関大体育会の変貌を我々現役一同痛切に感じ反省する次第です。

しかし関大体育会にとってこの十年間というものは、大学組織機構自体の変化、学内情勢の未統一からの学生気質の変化等も見のがせない事実であり、そういった狭められた現状・規制の下で体育会活動をより一層発展・育成させるには、再度大学組織機構におかれた体育会の立場、役割を確固たる方向づけをしなければなりません。そのためにも体育会内部の連帯感からの組織造りと、体育会を取り巻く組織との一貫性を図らねばならないだろうと思います。

戦力低迷という問題に関する対応としては、やはり数年来からの課外活動施設面の充実（例えば、合同合宿所の設置・総合グラウンド計画実現による練習場施設の拡充・ボート部艇庫の建造ETC）財政面の確保等、活動する際の根本的な願望の現実化。そしてより重要なことであり我々に直接的な責任の及ぶべく、また反省すべき点があるところの各部の活動内容も、現状に即した効果的かつ実際的な対策が必要であります。

体育会……部・同好会として活動する以上は、多分にシャー的要素を含む可能性のある愛好会・同好会同様の活動方針・内容であってはならないし、また各部間や部内において慣れ合いのムードのみが運常感を作る結果としてはいけないし、戦力低迷感覚が安住してしまってはならない。そのためにも部内における良い意味でのライバル意識の高揚といった精神的面での課題もある。さらに指導体制の充実も不可欠な要因であろう。特に各クラブの監督・コーチはもとよりOB諸氏の頻繁な技術面・精神面でのご指導は見のがせない要因であります。

以上のような体育会の展望に立って現状の体育会を見ればまず、部員数、戦力面においてある意味では向上していると思えます。現時点での新二年・三年に関しては部員数の増加がはっきりと目立っております。そして今年四月に入学する新入生について見れば、入部が予想される経験者が野球部では甲子園組が二名、一高から三名、アメリカンフットボールは一高から十二名、ラクビー部は十名、サッカー部も十名、ハンドボール部二名、水泳部が一高から三名、バレーボールは五名、バドミントン一名、陸上部三名ほどあります。これらは各部のOBやマネージャー等が受験案内したりスカウトの結果でありますが、例えば野球部では延べ三十八名受験させて合格したのは二名という現状で思うようにいっておりません。

また、戦績面から見れば、現在体育会四十部五同好会にあって、関西・西日本リーグ一部を堅持している部（一・二部リーグとランク付けしている中で上部リーグにある部）が二十七部の中で十四部あり、今年度に関しても一部昇格入れ替え戦に挑んだ部（一部リーグにいる部）が、アイスホッケー部、水泳部、スキー部、ハンドボール部、バレーボール部、陸上競技部、レスリング部とあり、その内一部に昇格できた部が水泳部、スキー部、陸上競技部、レスリング部とあります。その他の部は残念ながらおしくも涙をのんだわけでありますが、来年度の昇格へ期待が持たれています。

関西では敵なしのソフトボール

五輪参加に望み
レスリングとアーチェリー

また、一時は部員不在のため部にまで迫られた体育会最古の相撲部が全日本におけるBリーグに昇格したことは注目に値します。個人でも昨年六月に第二十八回世界アーチェリー選手権大会に出場したアーチェリー部の茂野千秋（文・三）は今年のオリンピックへの参加も期待されておりまして、今年三月に西日本学生選抜でカナダ・アメリカ遠征をするレスリング部の宮内博茂（社・三）宮田有恒（商・一）また同じく三月に第二回タイ国キングスカップ争奪トーナメントに全日本選手団として参加する平松秀樹（商・三）も期待されております。

一高集会室で盛大に開かれた優勝祝賀会

射撃とソフト 関西に敵なし

しかし、それらとは逆に創部以来はじめてのBリーグに転落したラクビー部、同じく二部リーグに転落したサッカー部、ヨット部の低迷も隠せない現状であります。これらの部は一部リーグは落ちたとはいえ下部リーグとは格段の差があると思えますので、来年度中にも一部に復帰するものと確信しております。

また、現在勝ち続けている射撃とソフトボールは関西に敵なしといった状態であり今後は全日本を目指し進むと確信しております。このように活躍している部をカンフル剤として、日々厳しい姿勢とどまらず、全関大あげての朗報といえよう。六年前に、大津健造前関大監督が一高の米里顧問に大学、高校両チームの指導一本化を提案、以来大津前監督は練習、合宿、クアム島遠征などをとおして両チームの交流をはかり、兄弟チームとして両チームをまとめてきた。三年前に、梶義弘監督に一高チームの指導をまかせたが、このたびの優勝の陰の功労者として特筆しなければならない。また、この両チームの兄弟関係は他の各運動部のあり方に一石を投じたものといえよう。

関大一高 百数十名が祝賀の集い
アメリカンフットボール優勝

昨年、十二月二十八日、関大一高アメリカンフットボール部は全国大会で初優勝をとげた（前号既報）。

その快挙を祝うため、徳山壽昭団総監督の呼びかけで、二月十四日午後二時より、一高集会室で盛大な優勝祝賀会が開催された。

久井忠雄理事長、明石三郎学長はじめ多数の大学、法人関係者、体育OB会、アメリカンフットボール関係者、そして高中教職員、父兄会、後援会、同窓会、OB会、PTA、生徒会等各会より百数十名が出席しまことに盛会であった。

会は校歌斉唱、徳山副会長の開会挨拶、長谷川雅樹校長、宇治野父兄会長の挨拶、久井理事長、明石学長、植野郁太理事、亀田武体育OB会副会長、佐竹幸蔵関西アメリカンフットボール協会理事長、黒沢哲雄生徒会長の祝辞があり音楽部の吹奏のうちに、顧問、監督、選手一人一人に長谷川校長・宇治野父兄会会長より記念メダルとトロフィーが贈られた。特に梶監督には長谷川校長より、感謝の心のこもった置時計が贈られた。

宇津宮雄章同窓会長の乾杯で祝宴に入り、出席者は再び優勝のよろこびを味わい、優勝戦のVTRに拍手をおくった。最後は北川直和一高OB会代表の応援歌合唱、根来後援会会長の万歳三唱で閉会した。

同部のこの快挙は、関大一高に諸氏においても現状理解の上暖かい目でご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

佐賀会本部長　中西　彰（商・四）

体育会50年度下半期の戦績

アーチェリー	全関西アーチェリー選手権大会　女子第3位　茂野千秋
	府下三大新人戦　優勝（団体5人制）
	女子三大新人戦　個人優勝　瀬古薫
	全日本アーチェリー選手権大会女子第5位　茂野千秋
アイスホッケー	関西学生アイスホッゲーリーグ戦　2部優勝
剣道	大阪府学生剣道優勝大会　ベスト16
	全関西学生剣道選手権　ベスト8.
拳法	全日本学生拳法選手権大会　ベスト8
庭球	甲子園テニストーナメント　男子シングルス優勝　宮南潔、ダブルス　ベスト4　梅林・稲川組
	全日本学生庭球選手権大会
	男子シングルス　ベスト4　中谷千昭
	男子ダブルス　ベスト8　坂井・中谷組
	関西学生庭球選手権大会　男子ダブルス優勝　坂井・中谷組
	関西庭球選手権大会　男子ダブルス　ベスト8　坂井・中谷組
野球	関西六大学秋期リーグ　第4位
射撃	全関西学生秋期選手権大会　総合団体優勝　エアーライフル団体優勝、スモールボアライフル第2位
	エアーライフル個人優勝　多井司
	スモールボアライフル第2位　多井司
	東西六大学定期戦　総合団体2位
	AR個人2位　多井司
	全日本学生選手権大会　総合団体　5位
重量挙	関西学生選手権　団体総合5位
自動車	フライ級2位　夏目富雄
	サーキット耐久走行　団体男子　第4位
	女子　優勝
	全関西学生自動車運転競技大会　男子団体総合優勝
	大型貨物の部　優勝　渡辺辰己
	小型乗用の部　2位　中西　誠
	全日本インカレ　団体ベスト8
卓球	関西学生秋期リーグ　第4位
軟庭	関西6大学秋期リーグ　第2位
	大阪選手権　個人3位　中辻一郎・宮地秀利組
ハンドボール	秋期リーグ　2部優勝
バスケットボール	関西学生バスケット下部リーグ　優勝
バドミントン	全日本学生バドミントン選手権
	男子シングルス第9位　横山昌弘
	大阪学生バドミントン新人戦　シングルス第4位　塩田秀行
バレーボール	関西学生バレーボール　秋季リーグ戦2部優勝
スキー	全日本学生スキー選手権大会　リレー部門　第3位
	男子30km優勝　鶴田昌義
フェンシング	大阪フルーレ杯　準決勝進出　寺井忠行
	関西学生フェンシング個人戦　エペ準決勝進出　西脇信正
サイクリング同好会	関西学生対抗自転車競技選手権大会
	4000m団体追抜き　第4位
	1000m速度競争第6位　成亥清
	関西学生サイクルサッカーリーグ戦　第5位
なぎなた同好会	関西学生新人戦　団体第3位
	個人段外の部　第2位　西村公美子、第3位　西出宏子
ソフトボール同好会	全日本学生選手権　団体　第3位
	西日本学生選手権　優勝
	大阪選手権　優勝
	関西学生秋季リーグ戦　優勝
ボウリング同好会	関西学生選手権大会　団体第5位、個人第4位　木下克重
	西日本学生選手権大会　団体第4位
アメリカンF・B	秋期リーグ　第3位

ゼロの空間

本屋を覗くと、きまって健康づくりに関するハウ・ツーものが書棚を賑わしている。最近、この傾向はとみに目立つようになってきたようだ。

一方、食料品の宣伝等に目を向けると、「美しいウエスト・ライン」を等と低カロリー食品が商業主義にのって登場してきた。これは、米国において十数年前に起ったことと同様である。

富める国米国では、人間の生活様式をもろくく変革した機械文明の落子が、こうした食生活の領域にまで侵入してしまった。

つまり、省力化に供なった運動不足にもかかわらず従前通りの高カロリーの食生活を続けて、エネルギーの補給と消費のバランスを崩した結果、諸々の現代病の原因の一端ともなった。ここに企業が着目したというわけである。

人間は元来、容易な方に組しやすい性向がある。周囲に目をやると、運動して汗を出し体調を整えるより寝等に頼りやすいのは、この性向に加えて、余分な運動で汗を流すこと等はエネルギーの浪費と考えた日本人の運動観が相乗しているかもしれない。

つい最近まで、この考え方は幅をきかしていたが、昨今ではいろんな呼びかけによって「体を動かす意義」が理解し始められている。

「体力」という言葉は、東京五輪（一九六四年）を契機にもっぱら運動選手の体力増強を目的に使用されだしたのであるが、近頃では日常用語として馴んできている。

ようである。しかし、「体力」という時、積極的な「体力づくり」を意味するより、「ああ！体力がなくなった」と自警の意に使われていることが大方のようである。

先に引例した米国では、一九六〇年にケネディが大統領になるとすぐ、青少年の体力の低下をテストの結果から確認して、国家的レベルにおけるフィジカル・フィトネス（体力づくり）の必要性を提唱した。こうした国家的努力が結実して、生活の中に「体を動かし心身を整える」という意欲が一般的に窺えるようになっている。

体力を生活の中に

過去を見て「労力」の被依存度を人、動物、機械の順で見るならば、一八五〇年代はそれぞれ一三％、五二・四％、三四・六％、一九〇〇年代は五・三％、二一・五％、七三・二％、一九五〇年代には〇・九％、〇・六％、九八・五％となっている。現代人は、その大部分を機械に頼っている。

人間の体にはバイオリズムというものがあり、きまったリズムで体の細胞が活動する時、全体に好ましく作動するものである。生体の正しいリズムは生活環境に左右される場合が多い。

過去五〇年程の間に急激に生活環境を変えているという事情下にあっては、本来の必要運動量を他で充足しないのであれば、自然のリズムを狂わし体の調子を乱すことが当然と考えてもよい。

日本人の平均寿命が八十歳となるには、さほど時間はかからないであろう。問題は、日本人の体力。運動能力の平均的ピークが、男子で十七歳、女子で十四歳となっており、人生の四半分にも満たないということである。

規則正しい運動を続ければ、かなりの年齢まで体力・運動能力を高めることができ、それらの維持は比較的容易にできる。

運動処方により、生活のリズムを整えるには、習慣的な運動が大切になってくる。それには身近に出来るジョッキング等が最適であろう。

ここ数年来日本でも各種の走る会が流行している。単に体力づくりのためだけでなく、共に汗を流し親交を温めるということも含まれているようである。

運動の場が心のふれあいの場となる時、日頃のストレスを解消して調和のとれた心身を保つことができよう。体力を考える時、薬品や食品の面からではなく、生活の中に体を動かすことから捉えたいものである。

一月末で七六・九％
不況深刻、50年度の就職状況

就職課から発表された二月三十一日付の就職状況によると未だに一部会社で七六・九％と昨年度同期の八九・八％に遠くおよばないのが現状である。

今年度は就職活動の解禁が九月ほとんどの会社の入社試験が十一月からだったことも理由に上げられるであろうが、不況時による募集人員の全体的減少が大きく影響していることは確実。卒業式までにはほとんど決定するであろうことは思えるが、中には残る学生もいるらしく、文学部では卒業（見込）者数中の約半数が就職活動をしているにすぎない。

就職率は就職決定者数を就職活動者数で割ったものであるから、比較的高い数字にはなるが、実際のところそれも就職課に登録している者に関してのみでそのパーセンテージは80％ぐらいである。

今年、特に目立つのは決定先において昨年まで巨大企業（資本金一〇〇億円以上及び大規模の相互会社）が約半数だったのに比し、大企業（資本金一〇億円以上一〇〇億円未満）や中企業、小企業が多くなっていることである。

行事と集い

- ●関西大学会計人クラブ総会　3月22日（月）5時半東洋ホテル
- ●昭和50年度卒業式 3月25日（木）　午前10時　法・文・社　午後1時　経・商・工
- ●法人評議員会 3月27日（土）　3時半　新阪急ホテル
- ●第五回長友会（長砂ゼミ同窓会）　3月28日（日）12時　公立学校共済組合嵐山保養所花のいえ
- ●香川支部総会 4月25日（日）　午後6時常磐別館

書斎の窓 —58—

川手昭平

微生物と人間
—その恩恵と利用について—

応用化学科を訪ねて来る客人を案内する紹介者は、私の研究室では必ず"この研究室は化学といっても少々変っておりまして……"と前おきをつける。自然科学の中で物質に関する学問である化学を志す化学屋が、微生物ーなりは小さいが立派に生物ーを扱うというのはたしかに少々異論であるかもしれない。私の専門は、この微生物を使って化学反応を起こさせて、いろいろな物質を作ったり、変化させたりしようという発酵工業（微生物利用工業）の化学ー近年はその守備範囲を広げて、生物工業化学とか応用生物化学とか呼んでいる学問分野である。

□…微生物が起こす化学反応

生物は大きく動物界、植物界に分けられ、その中でごく小さい顕微鏡的な大きさのものを広く微生物と呼び、前者には原虫類、後者には細菌、酵母、カビなどからケッチャ、ウイルスなどまで含まれる。これらの中には病原性のある厄介者も種々含まれるが、われわれが主として扱うものは、細菌酵母、カビのたぐいで、かつ病原性のないもので、これらを特に発酵微生物などと呼んでいる。

一体、生物が生きて行くためには外界からいろいろな食物を取り入れてこれを分解し、自体を構成する素材にしたり（同化）、エネルギーを取り出したりする（異化）。こういう反応を代謝と呼び、これらはすべて一連の数多くの化学反応から成立っている。代謝の経路にはすべての生物に共通的な基本的なものもあれば、生物によって異なる無数のバリエーションもある。そして生物はその種類により、あるいは条件によってその代謝の特に異化の過程で、食物を完全に炭酸ガスと水に変えたり（呼吸）、あるいは分解の中間の各種の物質に変えて排泄する。高等動植物では呼吸による完全酸化が多いが、微生物では分解中間物を排泄するものも多い。発酵産物と呼ばれるものたとえばアルコール、酢酸、クエン酸などは主にこの分解排泄物なのである。私の講義では"発酵"とは微生物の物質代謝を利用して人間に有用な中間代謝産物を作る過程の一般的呼称である。としている。

□…微生物の工業的利用

微生物はその種類が無数にあり、しかも単細胞生物であって、単純、安価な食物、つまり培養器によって比較的容易に培養でき、タンパク源、人造肉としてプビュー させようとし、今日唱伝されるSCP（単細胞タンパク質）の先駆をなした。

しかし発酵工業を近代工業として大きく飛躍させたのは第二次大戦中、米英共同で開発した抗生物質・ペニシリン発酵のタンク培養方式の確立で、その特効的薬効の重要性はもちろんであるが一方でこれによってカビや放線菌（細菌の一種）のような空気を多量に必要とする微生物の大型タンク培養が可能となり、広く有機酸やアミノ酸、酵素などの製造に応用されるようになり、また生物化学工学という学問分野を開拓した。

発酵工業の第二のエポックはグルタミン酸の発酵法による工業生産の成功で日本人の手になり、その後の主要なアミノ酸の発酵法も多くわが国において開発された。しかもこのアミノ酸発酵で特筆大書すべきことは、その多くがアミノ酸の生体内での合成機構の解明を基礎として、特定のアミノ酸の蓄積の理論的な方向づけに成功したことであって、これによって発酵化学の基礎理論が真に発酵工業の指導原理となり得たことであろう。

生体内のすべての反応、特にアミノ酸のような重要な物質の生合成の反応は、生体の要求に応じて適時、最適の規模で進められるように厳密、的確に制御されている。こういう機構があるからそ生体の恒常性が保たれているのである。そこでそのアミノ酸を多量に蓄積させようとすれば、その生体の制御の機構を解除しなければならない。そのために特種な人工変異株を作ったり、培養条件を微妙に調節してこの目的を達成している。また出来たアミノ酸の菌体外への漏出をはかりために細胞膜の透過性をも変化させている。このような発酵制御の方式を代謝制御発酵と呼び、イノシン酸などの核酸系調味料の発酵生産もこれに負うところが大きい。

□…環境と資源

微生物は地球の気圏、水圏にも分布するが、地表の土壌中にその種類も個体数も著しく多い。そして人間をはじめ高等な動植物の生活過程で排泄される老廃物や遺骸などをせっせと分解して炭酸ガスや水、アンモニア、硝酸あるいは窒素ガスなどの無機物に変える、つまり清掃屋をもって任じており、これが再び植物ー動物を経て循環されて、いわゆる生態学的サイクルを円滑に定常的に運行させている。近年著しい人類の生活水準の向上と人口増とによって、その生産物と蛋白質の不足を招来しつつある。一九七〇年世界人口三六億三千万の時のタンパク供給量は八千万トンといわれるが、全人類の健康の維持には一千万トンが不足していたという。二〇〇〇年には人口六五億、タンパク一億六千百万トンを要するといわれる。このような量は従来の農水産、畜産業に頼っていては絶対にまかないきれない。ここに食糧農産物と蛋白質合しない石油やその二次製品を原料とし、培養が容易で急速かつ安価に製造できるSCPが登場することになった。わが国では原料に由来する発ガン物質含有のおそれから、石油タンパクの製造にストップがかかったが、世界各国ではすでに飼料用酵母の大量生産にはいっている。石油にかわるものとしては天然ガスから作られるメタノールを原料としてもSCPが作られる。わが国でも早急にこれらの工業生産を実現させなければならないであろう。

微生物の作用は有機物に対してのみ向けられるのではない。酸化鉄鉱床やマンガン鉱床の大部分は微生物の作用によって沈積されたといわれ、近年海洋底に広く分布するものとしては天然ガスから作られるメタノールを原料としてもSCPが作られる。わが国でも早急球を汚さないという基本的でかつあたりまえのエチケットを心がけ、他方、資源の積極的で有効かつ完全な利用をはかり、浪費や無益な廃棄を厳にいましめて人類永遠の繁栄を保証しなければならない。応用生物化学もその努力の一端を担うものとせてこそ、その存在意義を有するといえよう。

（工学部助教授）

南アフリカで入手した 日の丸寄せ書
萩野龍雄氏をご存知の方は？

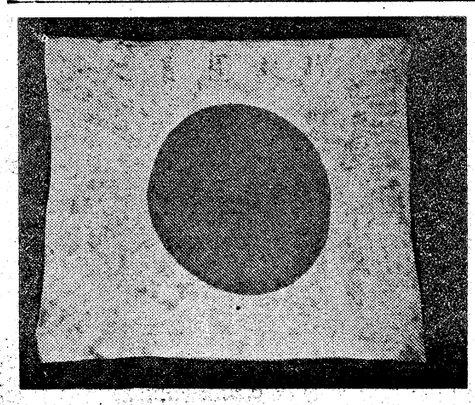
堂浦氏

さて私、去る二月十七日から二月十五日までの一カ月間、JETROの特使としてアフリカ五カ国を訪れ、この程帰国致しましたが、一月二十一日、南アフリカ共和国ヨハネスブルグ市宿舎カールトンホテル地下二階の古銭店で第二次大戦時の「萩野龍雄」氏の出征に際して寄せられた日の丸（写真）を入手致しました。

私は当時ニューギニア戦線で五〇〇人中三〇名の生還者としてかろうじて帰国した関係上、この日の丸を久人の手に渡すより、本人またはその遺族に探して渡してあげたい一念で、目下NHK、ラジオ、各新聞にご協力を求めておりますが未だ見つかりません。と申しますのはNHKテレビは、去る二月二十九日（日）午後六時、七時の二回、ラジオはFM放送、新聞は各ローカル版のためピッタリと当たりません。

なお母校機関紙「関大」に掲載してこの記念すべき日の丸を本人または遺族の方に渡したき所存のためご協力頂けば幸甚と存じますのでご一報申し上げた次第であります。

関西大学校友会
河内長野支部長
堂浦　詢爾（昭14大政）


「萩野龍雄」氏の日の丸寄せ書き

◇折武運長久祝出征「萩野龍雄君の"日の丸寄せ書"署名者氏名

白木　勲、藤田林太郎、永塚盛三郎、高坂熊一、西村貞利、谷木守、清田芳明、石田久貧、川俣洲、丸山喜蔵、紺地利愛郎、鎌田愛三郎、細田清治郎、野中啓一、小野嘉明、田口福寿、秋山実雄、垣性恒利、山田井松、尾崎新太郎、田中　武、佐野　掌、中村金次郎、濱沢　徳、伊東無三、本田誠一、竹本孝美、下門清一、飯田繁雄、岸本庄助、川上銀太郎、天下米蔵、久保一夫、石田政人、開発重松、水山杜夫、水野鈴治郎、田中雄三、阪井清吉、橋本米一、大月梅清、中村興三郎、山根三郎、淡田鶴吉、山宝武男、中山顕喜、竹蔵忠光、宮崎林三郎、渋谷　実、松林平八郎、井上正平、竹内鉄太郎、都志英雄、米川正一、青木栄寓、新田重夫、田邊繁治、内藤英雄、堀那城信孝、江守　登義、吉田久右衛門、堀長三郎、吉田正郎、福井孝一郎、平林　力、松本由太郎、神部秋月、上田栄次郎、宮本慎一郎、亀山要一、上野太郎、梅田愛三郎、白木義雄、川田佐次郎、山本信夫、小西国弘、船越寛二、森藤宗五郎、上田　武、宮田　堅、高木　三、小林勝七、槻瀬富蔵、荒金茂八郎、岡　悟。

以上85名、署名不明欄2名

おそばのおいしいお店
家族亭へお立ち寄り下さいませ
信州そば
家族亭
大阪店　東宝梅田会館/ヴメダ地下センター/阪急三番街/梅田新道/難波戎橋筋/ミナミ地下センター/南OSプラザ/阪急川西能勢口駅前
東京店　有楽町/日比谷/渋谷/蒲田/池袋
神戸店　阪急三宮駅西口
千葉店　千葉セントラルプラザ
仙台店　仙台ジャスコシティ

友信倉庫株式会社
倉庫事業部
重量事業部
空調設備サービス事業部
代表取締役　山野謹五郎
大阪市都島区都島本通1丁目13番10号
電話　大阪 928—3551（代）

一般土木工事
防水工事
注入工事一式
株式会社 大阪防水建設社
代表取締役　宇賀照夫
本社　大阪市天王寺区餌差町七番地の二　電話 大阪（七六一）二五九三代
出張所　名古屋 電話（九三五）五五六七
和歌山（二三一）八七四九
神戸（三四一）二八三一

営業科目
化学陶磁器部・機械器具部
工事部（耐酸工事・タイル工事・サッシ工事・造園工事）
公害防止機器並に装置
貸ビル・貸マンション
ヤノシゲ株式会社
取締役社長　矢野文雄
大阪市北区梅ケ枝町七一　ヤノシゲビル
電話（364）一〇五〇番（代表）
〇〇五一番（代表）

濱本工機株式会社
濱本工運株式会社
取締役社長　濱本正吉
（昭和14年大法卒）
本社　兵庫県尼崎市西本町3丁目1番地
電話　大阪 412—2161〜3
現業所　尼崎市東高洲町1番地
電話　大阪 411—5751〜2
411—0033
411—0365
営業所　尼崎市扶桑町2丁目1番地
電話　大阪 401—4975

森川元学長の三回忌

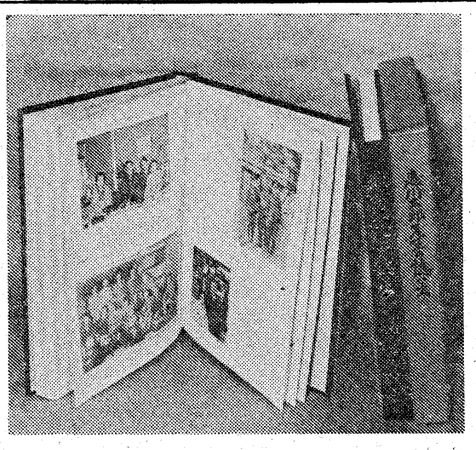
ご霊前に文集「森川太郎先生の憶い出」を捧げる—

まことに月日の経つのは早いもので、関西大学名誉教授、元学長森川太郎博士が大学関係者や愛人の惜涙に送られつつこの世を去られてから、はや二カ年の星霜が流れた。三回忌に当たる昭和五十一年二月二十六日を繰り上げて、二月二十二日（日曜日）に、その法要が博士のお宅で、しめやかな中にもいと厳粛に営まれた。参列者はいずれも博士のお教えを受け、恩情を賜わった方々ばかりで、各々先生のご霊前にお焼香して、心からそのご冥福をお祈りした。

香花や香煙のくゆるなかに、読経の時には高くまた時には低い音韻、外界の一切の雑音を遮断して集う人々と故人の霊魂との対話を、やさしく包んでくれるように降りしきる雨、これら一切のものが博士のみ霊を呼び起こし、心なしか祭壇のお写真が、博士の在りし日をほうふつとさせたようであった。

焼香のあとで、博士の愛弟子の一人である逢坂勝見氏が代表して、博士のご在前中のご遺徳を称え、「森川太郎先生の憶い出」なる小冊子をご霊前にお供えできるに至ったことを報告された。

その後、参列者たちは、この小冊子を各々手にし、博士のありし日のお姿を偲び、それぞれの思い出を懐しく、またなごやかに語り合ったのであるが、中でも、博士と最も懇意にされた神屋敷民蔵氏によって、若き時代の森川博士が専門分野の研究に余念なく励まれる一方、同人雑誌に寄稿されるほどの文学青年であったことや、博士の若き頃のラブ・ロマンスの秘話などが披瀝されて、一同、博士に対する追慕の念と哀惜の情を一層深くした。（浅田正雄）



「人間の幸不幸は棺を掩うて定まる」という諺があるが、本書を読んで、森川太郎博士は非常に幸福な人であった、と感じさせられた。

こういえば反論もあろう。四歳で父をうしない、そのため貧困な幼少時代をすごし、小学校を出ても、中学校に進学出来ず、醤油屋の小僧をしながら苦学をせざるを得なかったような人が何故幸せか。中学校の正規の課程を終えていないため、専門部で「特待生」に選ばれた程の秀才が、専門部の本科生としての卒業資格を得られないのである。それで山陰の私立育英中学校の五年生に編入試験を受けて入り、専門部の三年生の一年間休学を余儀なされて、なおかつ中学校卒業の資格をとる人々を踏まされた。それが幸せか。

こうしたことをいえばキリがないが、「艱難汝を玉にす」とは、森川博士の青少年時代にあてはまる言葉であろう。

幸せという点では、関大専門部時代による友人を得られたことである。およそ幸福な学生生活の重要な条件は、良き師と良き友に恵まれることにある。森川博士は宮島綱男教授という稀に見る俊才に見込まれた。しかし宮島教授が昭和二年十月末に起こった大ストライキの結果やめられたのは不幸だった。

しかし友人に恵まれた点では、本書に同期生大正十三年卒の頓戸勇、八田薫、壷田倫夫氏らが書いているように、非常に親しい交友を多く得た。「人の親和」で鳴る関大の中でも「十三会」は友情が深く、団結が堅いので定評があるこうである。

同期生会である。また、この期は人材が各方面に輩出しているのでも有名である。

発起人の一人の江口透氏が、私に向って、「十三会」から大学学長が三人も出ているが、こんな期は他にありませんよ」と誇らしげにいわれた。それは森川＝関大、八田＝第一経済大、谷岡登＝大阪商大、の三人である。その話は谷岡氏の本蹟を聴くため、東大阪市の大阪商大へ、昨年初夏に冠く車中で語られたのであるが、その江口氏なる僅か二カ月ほど後に急逝されたとは夢のようである。なお、弁論部でも三島律夫氏をはじめとする良友を得られ、また学報局でも霜村盛郷氏をはじめとする益友を得られた。

それはさておき、学者の幸福はよき後継者、すぐれた弟子をどれくらい養成するかにある、といわれている。森川博士は、本書に執筆されている松原、安田、高木、植野、東井諸教授のような本学の教授だった人は多いが、これほど多くの優秀を育てかつ慕われた人は先ず他にあるまい。

岩崎卯一博士も多くのすぐれた門下を養成し、かつ慕われた人であるけれども、学者を育成した数の上では森川博士の方がまさるよう追慕されていることである。

本学の教授だった人は多いが、これほど多くの優秀を育てかつ慕われた人は先ず他にあるまい。

岩崎卯一博士も多くのすぐれた門下を養成し、かつ慕われた人であるけれども、学者を育成した数の上では森川博士の方がまさるように感じられる。

以上、故人の友人、門下の方々の筆によって印象の一班を述べたが、これらの方々が触れられなかった森川博士の偉大な業績の一つについて記して置きたい。筆者は博士は学部を異にし、専攻もちがうが、昭和二十一年に来任以来、二十五年間、会議、会合等で顔を会わせるおつき合いであったが、博士が学長になられた最初の一年間、そのトに文学部長としての設置であった。当時の大問題は社会学部の設置であった。昭和四十一年四月より、九月に文部省へ設置認可申請書類を提出するまでの半年間教授会にもある程度の反対運動があったが、学生の反対運動は猛烈を極めた。学友会中執（一・二部とも）との深夜に至るまでの何度かの話し合いでも、一般学生相手の公聴会でも、長時間にわたり、学生は学長一人に攻撃の矢を集中し、多数が手を変え品をかえ入れかわり立ちかわり、あるいは理論的に、あるいは聞くにたえぬような威嚇、怒声を浴びせて攻めたてた。

老いて弱い学長の顔に疲労の色が濃くにじみ出ていても、追撃をやめなかった。四十一年といえば末の著作目録は、二百篇にのぼるとし、博士の学問的意欲の旺盛と精励を示している。筆者は巻をひらいてより、ひき入れられた。

（関大校友会事務局気付「森川太郎先生の憶い出」出版会編、非売品B6版、一八五頁）

若干余部がありますので、ご希望の方には、送料とも実費一、四〇〇円でお頒ちします。申し込みは前記出版会へ。

英国だより

ケンブリッジコースへただ今、元気で挑戦中！

中川真寿美から岩城富子さんへ

（一九七五年八月二四日消印）

岩城さん、お元気でしょうか、先日のお手紙なつかしく読ませていただきました。

日本はまだまだ暑い毎日が続いていることでしょう。英国は朝晩はオーバーが必要なくらいです。

午前十一時頃から三時までは温度が上って行きますので、調節が下手だとすぐ風邪を引きます。ロンドンにきてから二カ月たとうとしています。元気でガンバっています。朝の九時半から夕方の五時半まで殆んどブッ続けのレッスンです。それに宿題がたくさん出て……土、日の休日は（ベッドで）カマボコみたいです。とにかく論文作成が連続していてそのために本を読む、だから時間がないと言ってもよいくらいです。十一月にはケンブリッジコースのパブリック試験があります。

よく日本からの手紙にはどんな勉強（授業）をしているのかと質問されるのですが、午前中は学生と同じクラスで会話と文法をやります。会話といっても"Conversation sketch"といって、自分で考え出して相手をきめて演出する。この場合、自分だけのアイディアでするのです。相手にこうしてほしい……を教える。用意ができたら、そのグループで発表する。他の人のアイディアの時はその人の言うようにして行く。もう一つの方法はストーリーを五分くらいで読み、その後で先生から「スケッチをしなさい」と言われると、ストーリーからの人物を選んでグループを作ってすぐに発表する。内容が理解できないと絶対に演出できない。

また、学生がカンバセーションまたはストーリーを読まれる、その後ですぐに「スケッチ」で演出する、時々テレビのある部屋でしますが、普通は教室で行います。殆んど毎時間です。時間が二十分もありますのでシンドイですよ。スピーチの時間もあってこれは三十分程度を一人でシャベルようになっていて、タイトルが決められていてそれによってシャベルのですが、いずれもその時間に教材が発表されますので、予習するという段階とは違うものです。

コマーシャル英語も同時に習っていますが、これはBBC（英国放送）から先生がきてくれます。

グラマーの時間はとても楽しい時間です。例えば過去完了の文を五分間に書けるだけ書きます。すべてテストペーパーで提出します。練習問題もひとつの文が五行くらい続いていてブランクに記入していく。家でゆっくりやればできるものをすぐに答えるのですからイライラすることばかりです。初めて見る問題ばかりで朝からフーフ……。

学校全体で日本人はかなり多く、ランチタイムには食堂で会いますがクラスには一人もいないんです。また、クラスには外国の大学生や高校の教師もまじっています。

午後は Techers' Training になっています。各国からの先生ばかりのクラスといっても五名～七名のクラスで Wiriting の時間です。

論文、広告文、新聞、マガジン等の書き方を勉強しました。それから公用文、私用文の違いについて、それも大変楽しかったですよ。

先生は一日あたり四人で一カ月毎に新しい先生になります。発音がなれると向上しないので、次々と先生を変えて行くように学校自体が組立てあります。良いことだと思います。

このライティングはむずかしいのでやっとついていく状態です。とても楽しい先生です。

一行の英文をまずミスがないかよく考える、それからもっと良い表現を考える。モームの「ランチャーン」とか、まずこのストーリーの下書きをモームになったつもりで作ってみる……とても楽しい時間です。論文など書けるようになったら自然になって行きます。宿題を提出しない者は相手にしてくれないから自分でする事はキチンとしないと困ってくるようになります。学校で習うこと、自分でそのレベルまで上って行くための勉強の区別が、今頃になってやっと分かってきました。

会話も表現のしかたをおぼえて何となく話せるようになりました。この頃よく話すので先生から「何分くらいですよ。ゆっくりね」と注文がくるのです。授業の時はアンカマシンやらないとだまっていたらドンドンと通りこされるので、自分でシャベッてその授業に飛び込んで行く「心臓」がいります。

八月の楽しかったこと失敗等

毎日地下鉄で通っていますが、十日程前に交通事故があって二時間かかって家に帰りました。バスで帰る方向をさがして長いこと待って道を聞きながら帰ったためです。でもロンドンのおまわりさんはとても親切なので助かります。

「ゴハン」を食べたい時には中華料理店に行きます。ロンドンでは両側にズラリとならんでいます。日本料理はお店が少ないと、十倍くらい高いのでとても手が出ません（高売が下手ですよね）。中華料理店では日本料理によくにたたべものが食べられますが、値段も少し高いのでそれも時々です。

ヘイマーケットは安いのとおいしいのがあるのでよく行きます。ハム、サラダ、ロースチキンなどはとても安いので助かります。牛乳も、コーヒーも、紅茶も、クッキー二個つきで日本のお金にして三十円位です。でも食費は栄養を考えると高くつきます。

（昭27学二英）

—つづく—

【追】岩城富子さんは校友会常議員で広報担当。現在歌島中学校の英語の教師をしておられる

森川太郎先生の憶い出

文学部教授　横田健一

しのぎを削った東西の勧誘合戦も谷口、戸上の入学でケリとなった。この年山陰の大社中学から後に高障害、中障害を中心に跳躍、短距離等万能ぶりを発揮した森山時雄（福田）も加わり、第一期黄金時代の歯車が始動しはじめたのである。

即ちその前年の昭和六年に、予科から学部に入ったばかりの若き大島が主将となり、その重責にもかかわらず全部員の先頭に立って総力を結集し、よく牽引車の役目を果たし、実に六年ぶりに当時の宿敵京都大学から王座を奪還、総合優勝を達成し、以降八年間にわたる連勝への礎石の布石の先陣をきったのである。

時の勢とは不思議なもので、毎年十分に勝機があったにもかかわらず、ほんのわずかの狂いから万年二位と苦しんだ関大陸上競技部が、まるでそれまで蓄積されたストレスを一気に吹き飛ばしたかの如く、少々の劣勢の年でさえ何の躊躇もなく優勝を続けたのである。

谷口睦生

文学部助教授
（陸上競技部監督）
平原豊弘

⑧

百、二百メートルに日本新
陸上の第一期黄金時代

題字は明石三郎学長

23

大会五位と強豪ひしめく関東勢の中で唯一の関西勢として常に六位以内にくいこんでいるのである（京大、同志社が一度ずつ入賞している）。

谷口はこの大会中百㍍に四度、二百㍍に三度、四百㍍継走に一度優勝を遂げ、常に三位以下に落ちたことはなく総合入賞の原動力となっているが、特に昭和十年の甲子園南運動場における第六回大会の関大陸上競技部からみれば氷山の一つ一角に過ぎず、陸上競技史上には、限られた本紙では列挙することが不可能な程、当時活躍した数多くの名選手が名前を連らねているのが史実である。

世界陸上界に勇名

これらの選手は単に関西ICのみならず、当時の全日本ICに、また国際学生の大会に、さらにまたオリンピック大会へとその流れを留めることを知らず、日本陸上界はもとより、世界陸上界にまでその勇名をはせたのである。

これらの輝かしい業績は当時のあらゆる報道機関に、また誌上にその活字や雄姿が残されているのである。中でも特に顕著なものを紹介すると、日本ICの総合で昭和六年の第三回大会で三位、第四回大会四位、第五回大会五位、第六回大会四位、第七回大会には藤枝、富谷の両雄が病気欠場にもかかわらず史上初の文理大に次ぐ第二位を占めたのである。もし仮りに両選手が健在なれば、日本IC初優勝という夢も決して至難ではなく誠に惜まれるべき欠場であった。第八、九回大会六位、第十回西大学であり京都大学であった。

当時の意欲的な陸上界は上昇機運にあり、その現われとしてユニークな企画を計画した。即ち東西における優秀大学を二校選んで連合軍をつくり、毎年交互に対抗戦をやろうというもので、時に選ばれたのは関東では早稲田と慶応の両大学。関西では関大と京大であった。

この対抗戦は私の現役時代棒高跳で出場した昭和二十六年、大阪の花園グラウンドで行われた大会で終止符をうったが、世に言われた「早慶・京関戦」であり、別名「世界記録をつくる会」とも呼ばれたが、いずれにしても当時は事実それにふさわしい陣容であった。

第一回は慶応大学の日吉グラウンドで挙行された。

時あたかも欧米では片やケンブリッジ、オクスフォードの両大学（英国）と一方はエール、ハーバードの両大学（米国）の連合二チームが大西洋を越え、英米対抗をやった頃であった。

とも角日本でのこの対抗競技に関東、関西の他の大学が選ばれなかったことについては、その実力もさることながら、学風とか競技者の精神的な態度やマナー等がきびしく問われ、評価されたことは確かである。

谷口のこの大会における活躍ぶりは多くの人達に大きな感銘を残したのである。これらは当時選手の窪田選手（早大）であり勝負は確定的な模様を呈していた。

谷口はこの強敵にもまして二十㍍近いハンディを担って力走した美しく軽快な彼のフォームはかも鹿の如く、まさかと思った奇跡をやってのけたのである。窪田が切るべきテープをゴール寸前で鮮かに抜き去り、テープを切ったのである。事実谷口にとって、日本記録を破るなど、この年あたりが最も油の乗り切った年でもあった。

国際舞台へはばたく

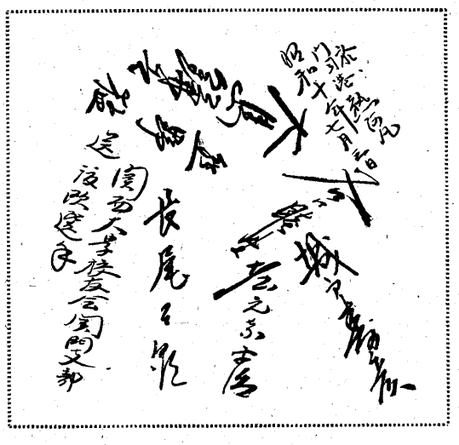
関西に、全日本に激突する関大陸上競技部のあくなき前進は、祖国日本を飛び立ち、より強い相手を求めて国際舞台へと羽ばたいたのである。前の第九回極東大会、第四回国際学生大会（昭和五年）に次いで、昭和七年第十回オリンピック大会（ロスアンゼルス）に、大島鎌吉（三段跳）長尾三郎（槍投げ）が日本代表選手に選ばれて参加し、大島は見事三位に入賞、本学史上初の銅メダルを得た。

翌八年には日本陸連の南米遠征が行われ、選手団一行六名のうち大島、藤枝の両選手が選ばれ三ヵ月にわたって、ペルー、チリ、アルゼンチン、ブラジルの各地を転戦し、藤枝は対アルゼンチン戦で八百㍍に一分五十六秒八という当時にとってはすばらしい日本記録を樹立した。この遠征は南米に日貨排斥運動が起り、次第に情勢が悪化する中で、外務省がその幽止め策に企画して送ったスポーツ文化使節でもあった。

当時大島は主将であり、藤枝も中距離の中核であり、関西ICを目前に控え、ポイントゲッター二名が欠けるという状況から、両名は責任上陸連の要請を何度も断ったが、最後に全部員による総会を開き、大島主将不在時の主将代理に城戸を配し悪条件ながら関西ICの優勝の決意を表明し、両者を南米に送った。事実関西ICは苦戦に苦戦を重ねた結果連続優勝を果したのである。（両者遠征による得点減少は四十点以上に及ぶ）

昭和九年、マニラにおける第十回極東大会には大島、谷口、長尾の三名が参加。大島は三段跳に十五㍍八二の世界記録を樹立し、長尾はこれより先に槍投げで六十八㍍五九の日本記録をつくり、両者は優勝、谷口は二百㍍で二位ながら二十一秒二の日本記録を出し、百㍍は四位に入賞した。

翌十年ハンガリアのブダペストで第九回国際学生大会が行われ、前年卒業の大島はプレーイングマネージャーとして参加、谷口、長尾が欧州に飛んだ。壮途にあたり関大校友会関門支部において、壮行会が盛大にもたれた。その際本号掲載の寄せ書きが遺影、故人である谷口、長尾の残された唯一の肉筆の跡が記されている。



当時の意欲的な陸上界は上昇機運にあり、その現われとしてユニークな企画を計画した。即ち東西における優秀大学を二校選んで連合軍をつくり、毎年交互に対抗戦をやろうというもので、時に選ばれたのは関東では早稲田と慶応の両大学。関西では関大と京大であった。

この対抗戦は私の現役時代棒高跳で出場した昭和二十六年、大阪の花園グラウンドで行われた大会で終止符をうったが、世に言われた「早慶・京関戦」であり、別名「世界記録をつくる会」とも呼ばれたが、いずれにしても当時は事実それにふさわしい陣容であった。

第一回は慶応大学の日吉グラウンドで挙行された。

時あたかも欧米では片やケンブリッジ、オクスフォードの両大学（英国）と一方はエール、ハーバードの両大学（米国）の連合二チームが大西洋を越え、英米対抗をやった頃であった。

とも角日本でのこの対抗競技に関東、関西の他の大学が選ばれなかったことについては、その実力もさることながら、学風とか競技者の精神的な態度やマナー等がきびしく問われ、評価されたことは確かである。

谷口のこの大会における活躍ぶりは多くの人達に大きな感銘を残したのである。これらは当時選手の窪田選手（早大）であり勝負は確定的な模様を呈していた。

谷口はこの強敵にもまして二十㍍近いハンディを担って力走した美しく軽快な彼のフォームはかも鹿の如く、まさかと思った奇跡をやってのけたのである。窪田が切るべきテープをゴール寸前で鮮かに抜き去り、テープを切ったのである。事実谷口にとって、日本記録を破るなど、この年あたりが最も油の乗り切った年でもあった。

国際舞台へはばたく

関西に、全日本に激突する関大陸上競技部のあくなき前進は、祖国日本を飛び立ち、より強い相手を求めて国際舞台へと羽ばたいたのである。前の第九回極東大会、第四回国際学生大会（昭和五年）に次いで、昭和七年第十回オリンピック大会（ロスアンゼルス）に、大島鎌吉（三段跳）長尾三郎（槍投げ）が日本代表選手に選ばれて参加し、大島は見事三位に入賞、本学史上初の銅メダルを得た。

翌八年には日本陸連の南米遠征が行われ、選手団一行六名のうち大島、藤枝の両選手が選ばれ三ヵ月にわたって、ペルー、チリ、アルゼンチン、ブラジルの各地を転戦し、藤枝は対アルゼンチン戦で八百㍍に一分五十六秒八という当時にとってはすばらしい日本記録を樹立した。この遠征は南米に日貨排斥運動が起り、次第に情勢が悪化する中で、外務省がその幽止め策に企画して送ったスポーツ文化使節でもあった。

当時大島は主将であり、藤枝も中距離の中核であり、関西ICを目前に控え、ポイントゲッター二名が欠けるという状況から、両名は責任上陸連の要請を何度も断ったが、最後に全部員による総会を開き、大島主将不在時の主将代理に城戸を配し悪条件ながら関西ICの優勝の決意を表明し、両者を南米に送った。事実関西ICは苦戦に苦戦を重ねた結果連続優勝を果したのである。（両者遠征による得点減少は四十点以上に及ぶ）

昭和九年、マニラにおける第十回極東大会には大島、谷口、長尾の三名が参加。大島は三段跳に十五㍍八二の世界記録を樹立し、長尾はこれより先に槍投げで六十八㍍五九の日本記録をつくり、両者は優勝、谷口は二百㍍で二位ながら二十一秒二の日本記録を出し、百㍍は四位に入賞した。

翌十年ハンガリアのブダペストで第九回国際学生大会が行われ、前年卒業の大島はプレーイングマネージャーとして参加、谷口、長尾が欧州に飛んだ。壮途にあたり関大校友会関門支部において、壮行会が盛大にもたれた。その際本号掲載の寄せ書きが遺影、故人である谷口、長尾の残された唯一の肉筆の跡が記されている。

ベルリン五輪へ六名

第一期黄金時代における最高調の年とも言える昭和十一年は、何と言ってもハイライトであろう。第十一回オリンピックがドイツのベルリンで行われた。シベリアを通ってフィンランド経由でベルリンに乗りこんだ選手団の中に、谷口睦生、森山時雄（福田）戸上研之、長尾三郎、古田康治の五現役選手に、コーチ兼選手として大島鎌吉の計六名の関大人が名を連ねていた。これは陸上男子四十名の選手中実に一五％が関大勢（早大は九名で最高）大島は全選手団の主将に推されたのである。

当時の日本選手団の活躍ぶりは名画「民族の祭典」で堪能する程観たものである。

関大の黄金時代は同時に日本陸上の黄金時代であった。日本は極東の覇者でもあったことはもち論、ロスアンゼルス、ベルリン両オリンピック大会を通じて世界を驚かす好成績をあげたのであった。

勢いに乗った関大は、昭和十二年米国陸上の名門南カリホルニア大学と対抗戦を行うよう交渉を始めたがシーズン制の問題で（米国は七月初旬でシーズンオフになる）実現せず、止むを得ず計画を縮少し、台湾遠征を実行することになった。チームは大島監督、森山（福田）主将、渡辺敏夫マネージャー、他戸上研之、谷口睦生、川手輝典、渡橋襲明、川田喜代治、渡辺敏夫、小椋員佐巳、近藤満一、権代克巳、古川元治、小谷義雄、加藤義、大室雅彦、鈴木